

本資料は抜粋となっております。全ての内容を書き込んだ記憶媒体を当センターにて配付しております。詳細については下記までお問い合わせください。

連絡先

電話 : 0270-26-9208

FAX : 0270-20-1284

E-mail : karisen@edu-g.gsn.ed.jp (@を半角に)

全教職員によるカリキュラム・
マネジメントを実現する

「グランドデザイン作成のための ワークショップ型校内研修」 ガイドブック

1. はじめに
2. より良い校内研修に向けて
3. 校内研修の実践例
4. おわりに
(資料) 実施要項テンプレート
ワークシートテンプレート



群馬県総合教育センター 長期研修員

松本 拓也 鏝田 規人

目 次

1. はじめに	1 ページ
2. より良い校内研修に向けて	2 ページ
3. 校内研修の実践例	3～8 ページ
4. おわりに	9 ページ

(資料) 実施要項テンプレート

ワークシートテンプレート

2. より良い校内研修に向けて

ワークショップ型校内研修を企画する際に留意したいポイントを七つ示します。各校の実態に応じながら、これらのポイントを踏まえて研修を企画することがより良い研修につながると考えます。

ワークショップ事前準備

ポイント①

ニーズの把握

「ベテランが多く異動し、若手職員が増えている」「授業改善に課題を感じている」など、**教職員の状況を適切に把握**することで、より**実態に即した研修**になります。

ポイント②

目的を明確に

「グランドデザインの作成」など、目的を明確にすることで参加者の**意欲が高まり**、「**やらされる**」研修ではなく、**自分たちのための研修**になります。

ワークショップ中

ポイント③

インプットも大切に

- 考える素材となる**情報のインプット**も大切にします。
- ワークショップの時間確保を優先するため、**短時間（10分程度）**で行います。

高女と県立太田では、次期学習指導要領の理念や、その中のグランドデザインの位置付けを確認しました。

ポイント④

適切な手法の活用

- 適切な手法（思考ツールなど）**を使用し、研修中の思考の拡散・収束を助けます。
- 思考ツールなどを実際に体験することで「**授業や部活動にも使えそうだ**」と参加者は感じます。

高女と県立太田では、教科や年齢などができるだけ同じにならない**グループを編制**することで、**教科横断的で世代を超えたコミュニケーションの場**となるようにしました。

ポイント⑤

グループ構成の工夫

ポイント⑥

リーダーを固定しない

グループワークでは、**特定の人に依存することがないように**、グループのリーダー役を指名します。

高女と県立太田では、**グループで最年少の人や、グループで2番目に若い人をリーダー役**としました。

ワークショップ終了後

ポイント⑦

ゴールでなく「きっかけ」に

校内研修を行うことで初めて見えてくる課題もあります。**校内研修をきっかけにより良い学校作りを進めていきましょう。研修の成果物は付箋をのり付けして保存したり、写真に撮ったりしておく**と後で見返すこともできます。

グランドデザイン作成後にできること
例1) グランドデザインを使って学校の教育活動を点検する場を作るため、校務運営委員会とは別に「**企画会議**」を**立ち上げる**。
例2) 学校の**ホームページや学校案内に掲載**し、広報活動に使用する。

3. 校内研修の実践例①

*①～③は連続した内容ですが、①だけで実施することも可能です。

目的 生徒・学校の強みと課題を把握する

4～5人のグループワークを基本とします。

時間の目安

60分～90分

- 学習面・生活面における生徒の「強み」と「課題」及び学校の学習指導・生活指導の「強み」と「課題」を共有します。
- 職員の異動などにより、指導の目線が合わせづらい、教科や学年のまとまりが強く「学校全体で生徒を育てていく」という発想になりづらい、といった多くの学校が共通して抱える課題の解決に役立ちます。

1 研修の概要説明 10分

カリキュラム・マネジメントの意義や研修の内容について、文部科学省の資料や他校での実践例を交えて説明する。

2 強みと課題を書き出す 10分

【個人作業】

生徒と学校の強みと課題をそれぞれ付箋に書き出し、マトリクスシートの枠内に貼り付けていく。

生徒の強みは青、学校の強みは緑、生徒の課題は黄色、学校の課題はピンクと色分けする。

3 強みと課題を共有する 20分

【グループワーク】

- (1)書いた内容を読み上げながら、マトリクスシートの付箋を概念化シートに貼り直す。
- (2)強みは赤、課題は青のマジックでグルーピングし、タイトルを付ける。

4 ワールドカフェ 20分

「発表者のみが移動する」アレンジ版のワールドカフェとする。2～3回繰り返すことにより、意識の共有が進んでいく。

5 振り返り 15分

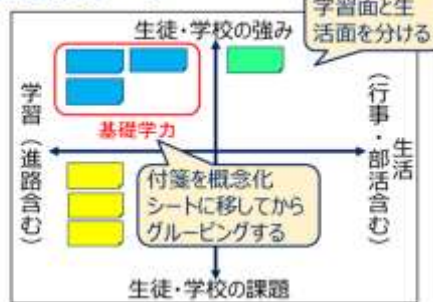
- (1)発表者が元の班に戻り、班の中で振り返りを行う。
- (2)全体に対して1～2班が発表し、全体でも共有する。

マトリクスシート

生徒の強み	学校の強み	生徒の課題	学校の課題

アイデアを多く出すため、生徒・学校の強みと課題（学習面・生活面）を付箋に記入し、貼り付けていく。【個人作業】

概念化シート



ワールドカフェ<アレンジ版>



<必要なもの>

付箋（青、緑、黄色、ピンク）
マジック（赤・青）
マトリクスシート、概念化シート

3. 校内研修の実践例②

* ①～③は連続した内容ですが、②だけで実施することも可能です。

目的 生徒に育成する資質・能力から学校の教育活動を捉え直す

時間の目安 90分～120分

4～5人のグループワークを基本とし、2の(4)では10～12人の大グループになります。

- 生徒に育成する資質・能力と、資質・能力育成のための具体的取組を考えます。
- その教育活動を通して**生徒が「何ができるようになるか」**を考えることで、現在の取組の意味付けができるとともに、**見直すべき取組や新たな取組を考えられます。**

1 前回の研修の振り返り 10分

2 資質・能力の検討 40分

【個人作業】

- (1)生徒に育成する資質・能力を個人で考え、「資質・能力整理シート」に書き込む。

【グループワーク】

- (2)グループで五つにまとめる。
- (3)グループを変えて、再度五つにまとめる。
- (4)三つの大グループで五つにまとめる。
- (5)大グループの代表者が協議し、五つの資質・能力をまとめる。(他の参加者は休憩)

3 具体的取組の検討 35分

【グループワーク】

(1)ブレインライティング

- 2でまとめた五つの資質・能力を育成するために「**すでにしていること**」をピンク、「**見直すべきこと**」を青、「**新たに取り組むこと**」を黄色の付箋に書き出し、「ブレインライティングシート」に貼る。
- 1段につき3分～5分で、時間になったら右隣の人にシートを回し、前の人とは異なる意見を書く。
* 3～5回繰り返す。

2段目以降は既書いてある意見とは異なる意見を書くようにするが、既書いてある意見から連想して書いたり、既書いてある意見をより具体化して書いたりしてもよい。

資質・能力整理シート

<個人> 太高で育成する (している) 資質・能力			
<1回目のグループ> 太高で育成する (している) 資質・能力			
<2回目のグループ> 太高で育成する (している) 資質・能力			
<大グループ> 太高で育成する (している) 資質・能力			

ブレインライティングシート

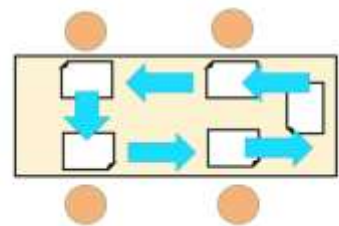
(主体性)を育成するための具体的取組

すでにしている Keep	見直すべき Scrap	新たに取り組む Build
グループ学習	土曜課外 (やらされ感)	クロス カリキュラム
希望者補習	一方的な授業 (生徒の気質変化)	TO学習
前の意見とは別の意見を出してもよい。	前の意見をより具体化してもよい。	先輩が後輩のテストを解説

* 学校案内や年間行事予定が手元にあると、具体的取組を挙げやすい。

ブレインライティングシートの回し方

4人グループの場合、4人で5枚を回す。



次ページへ続く

【グループワーク】

(2) フィッシュボーンシート

- ブレインライティングシートから「フィッシュボーンシート」に付箋を貼り直す。
- 中骨に近いところにピンクの付「すでにしていること」、その上に「見直すべきこと」と「新たに取り組むこと」を並べ、マジックでグルーピングをしたり気付いたことを書き込んだりする。



4 ワールドカフェ 15分

「発表者のみが移動する」アレンジ版のワールドカフェとする。2～3回繰り返すことにより、意識の共有が進んでいく。

5 振り返り 10分

(1)発表者が元の班に戻り、班の中で振り返りを行う。

(2)全体に対して1～2班が発表し、全体でも共有する。



ワールドカフェ<アレンジ版>



<必要なもの>

付箋 (ピンク、青、黄色)
マジック (赤・青)
資質・能力整理シート
ブレインライティングシート
フィッシュボーンシート

校内研修後

グランドデザイン (案) の作成

○校内研修の成果物である「概念化シート」と「フィッシュボーンシート」を基に、以下の(1)～(3)に手順でグランドデザイン案を作成することができます。

高女・県立太田では各班の成果物に共通点が多く、それらをまとめていくことでグランドデザインが形になりました。

○実践例③-2 (高女実践4回目)のように、全体のレイアウトだけ作成し、校内研修で改めて「生徒に育成する資質・能力」や「具体的取組」を検討することもできます。

(1)全体のレイアウトを考える。

「生徒に育成する資質・能力」と「資質・能力育成のための具体的取組」を中心に、グランドデザイン全体のレイアウトを考える。

(2)「生徒に育成する資質・能力」を検討する。

校内研修でまとめたものをそのまま使うこともできるが、より分かりやすくするために五つではなく三つに絞ったり、文言を変えたりしてもよい。

(3)グランドデザイン (案) に掲載する「具体的取組」を検討する。

校内研修でまとめたものをそのまま使うこともできるが、出てこなかった取組を付け加えてもよい。

3. 校内研修の実践例③－1（太高実践3回目）

*①～③は連続した内容ですが、③だけで実施することも可能です。

目的 グランドデザインを全教職員で検討する

4～5人のグループワークを基本とします。

時間の目安 90分

- ②の研修で考えた資質・能力と具体的取組を使って作成したグランドデザインの案を基にグループで協議し、案の加除修正を行います。
- 参加者が案を修正することにより、グランドデザインの作成ではなく、**グランドデザインを活用したPDCAサイクルの構築**が大切であることを実感できます。

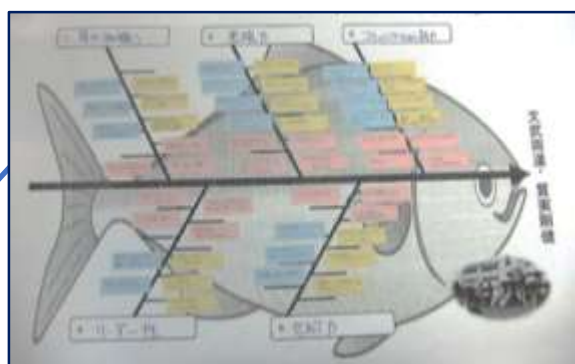
1 前回の研修の振り返り 10分

2 グランドデザインの検討 35分

【グループワーク】

- (1)「グランドデザイン拡大シート」を見て、**生徒に育成する資質・能力**を再検討し、気付いたことをマジックで直接書き込んだり、付箋に書いて貼り付けたりする。
- (2)「グランドデザイン拡大シート」を見て、**資質・能力育成のための具体的取組**を再検討し、気付いたことをマジックで直接書き込んだり、緑色の付箋に書いて貼り付けたりする。

資質・能力の検討が終わり次第、具体的取組の検討に移ることもできます。時間があれば、第2回校内研修の成果物（フィッシュボーンシート）を見直しながらか検討すると前回の研修内容が生かれます。



3 ポスターセッション 10分

二つのグループでペアを作り、班で検討した「グランドデザイン拡大シート」についてお互いに**3分以内で発表し合い、残りの時間で質疑応答**を行う。

4 全体協議 20分

- (1)全体の前で一つのグループがグランドデザインについて検討したことを発表する。
- (2)グランドデザインについて、挙手で自由に意見を出し合う。**出された意見はパソコンに入力し、プロジェクタで投影し共有**する。



＜必要なもの＞
付箋（緑色）、マジック（赤・青）
グランドデザイン拡大シート

3. 校内研修の実践例③-2 (高女実践4回目)

目的 グランドデザインを全教職員で検討する

4～5人のグループワークを基本とします。

時間の目安 90分

- 枠組のみ作成したグランドデザインの案を基にグループで協議し、グループごとにグランドデザインを完成させます。
- 参加者が案を修正することにより、グランドデザインの作成ではなく、グランドデザインを活用したPDCAサイクルの構築が大切であることを実感できます。

1 前回の研修の振り返り 10分

グランドデザインの案を提示し、どのような意図で作成したかを説明します。

2 グランドデザインの検討 25分

【グループワーク】

- (1)「グランドデザイン拡大シート」(6ページ参照)を見ながら、実践例②で考えた生徒に育成する五つの資質・能力について、**どの学年で重点的に育てるか**を検討し、マジックで直接シートに書き込むか、付箋に書いて貼り付ける。
- (2)各学年で重点的に育てる**資質・能力育成のための具体的取組**をグループで検討し、マジックで直接シートに書き込むか、付箋に書いて貼り付ける。

学校案内や年間行事予定があると具体的取組を検討しやすくなります。

3 キャッチフレーズ作り 10分

【グループワーク】

2で検討したグランドデザインを踏まえ、**学校のキャッチフレーズ**を考える。

資質・能力と具体的取組の検討が終わり次第、キャッチフレーズ作りに移ることもできます。

4 ポスターセッション 25分

- (1)1グループ2分程度で、**全てのグループが全体に対して**自分のグループで作ったキャッチフレーズとグランドデザインの内容を発表する。
- (2)発表後、最も良かったと思うグループのグランドデザイン拡大シートに丸型のラベルシールを貼る。



＜必要なもの＞

- 付箋
- マジック
- 丸型のラベルシール
- グランドデザイン拡大シート

3. 校内研修の実践例⑤（1回完結）

* ①～③を1時間で一とおりできるようにしてあります。

目的 ▶ 短時間でランドデザインを作成する

4～5人のグループワークを基本とします。

時間の目安 60分

- 短時間でランドデザインの大枠を作成します。
- より詳細なランドデザイン検討のための土台作りを全教職員でできます。

1 研修の概要説明 10分

ランドデザインの意義や研修の内容について、文部科学省の資料や他校での実践例を交えて説明する。

2 強みと課題を共有する 5分

【グループワーク】
生徒の強みと課題を挙げ、「ランドデザイン作成シート」に青色のマジックで書き出していく。

3 資質・能力の検討 10分

【個人作業】
生徒に育成する資質・能力を三つ付箋に書く（2～3分）。

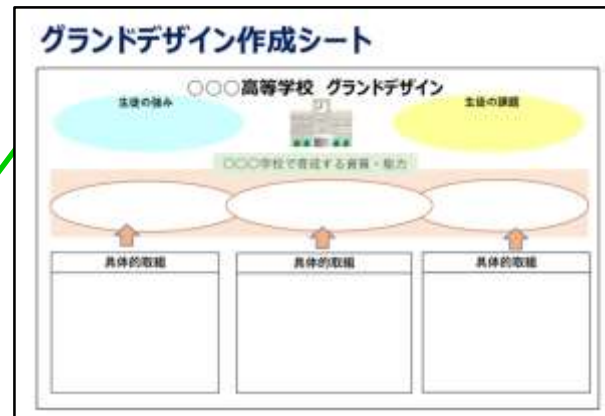
【グループワーク】
育成する資質・能力を共有し、「ランドデザイン作成シート」に貼り付けながら三つにグループ分けする（7～8分）。

4 具体的取組の検討 20分

- 【グループワーク】
- (1)ブレインライティング
 - 3でまとめた三つの資質・能力育成のための具体的取組を付箋に書き出し、「ブレインライティングシート」に貼り付けていく。
 - 1段につき3分で、時間になったら右隣の人にシートを回し、前の人とは異なる意見を書く。* 3回繰り返す。
 - (2)「ランドデザイン作成シート」に付箋を貼り直し、可能ならば赤色のマジックを使ってグルーピングする。

5 ワールドカフェ 15分

「発表者のみが移動する」アレンジ版のワールドカフェとします。2～3回繰り返すことにより、意識の共有が進んでいきます。



* 実践例②と異なる点

実践例②の「ブレインライティングシート」では一つの資質・能力育成のために「すでに行っていること」「見直すべきこと」「新たに取り組むこと」を一枚のシートで検討した。

<必要なもの>

- 付箋（ピンク、青、黄色）
- マジック（赤・青）
- ランドデザイン作成シート
- ブレインライティングシート

4. おわりに

実施要項やワークシートは自由に加工してお使いください。

実践例①～④や実施要項テンプレートには全て実際に行ったワークショップ型研修を基に時間や手順を示していますが、学校の実態や研修の目的、ワークショップ型研修の経験の有無により所要時間や手順は変わってくると考えます。研修の成果物であるグランドデザインも、その目的や学校の特色によってレイアウトは様々となるでしょう。参考までに県立太田・高女のグランドデザイン案をお示します。

群馬県立太田高等学校 平成29年度グランドデザイン(案)

基本理念 文武両道・貞実剛健の校風の振興を図り、21世紀の担い手としての、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指す。

21世紀型の学力を育む具体的取組

- 1. 英語特別指導科
- 2. 大学出前授業
- 3. 〇目による出前授業

21世紀型の学力

太高で育成する資質・能力

人間関係形成力 主体的行動力

人間関係形成力を育む具体的取組

- 1. 英語研修
- 2. 進学旅行
- 3. オープンキャンパス
- 4. ビデオバトル

主体的行動力を育む具体的取組

- 1. 空手部の作成
- 2. 空手合戦(希望者)
- 3. 実習生のクラフト編成
- 4. 海外オリエンテーション

県立太田高校のグランドデザイン (案)

群馬県立高崎女子高等学校 グランドデザイン
Takasaki Girls High School Grand Design

H30年度 キャッチフレーズ
認め合う 高め合う『全力投球』

高女では5つの資質・能力を育みます!

第1学年 第2学年 第3学年

主体性 自己管理能力 リーダーシップ 探究心 課題解決能力

高女力

探究心 課題解決能力 リーダーシップ 自己管理能力 主体性

高崎女子高校のグランドデザイン (案)

○「教職員の目線合わせ」につながるグランドデザインを目指して作成しました。

○育成する三つの資質・能力を中心に置き、その周りに資質・能力育成のための具体的取組が列挙されています。

○学校で行われている様々な教育活動を網羅的に載せ、現状の可視化につながるようにしました。

○「学校の発信力強化」につながるグランドデザインを目指して作成しました。

○ポスターとしての掲示や学校説明会等で活用することを考え、小・中学生にも分かるようなキャッチフレーズを載せました。

○育成する五つの資質・能力について、どの学年で重点的に育てるのが、またそのためにどのような具体的取組をしているかが写真で示されています。